

## つべつまち物語

NO. 49

### つべつまち物語～津別町活汲第三 in 80周年記念

我が地活汲第三自治会が80周年になり祝賀会と記念誌の発行をしました。

先輩達が築いてくれた歴史を記念誌の抜粋で紹介します。

1883年明治16年4月旧土人救済事務取扱所設置（活汲90,91番地・現柏木家所有地）。

1887年明治20年6月30日に救済事務所廃止、美幌村外五ヶ村の戸長役場設置（同）。

1887年明治20年9月6日に戸長役場位置を美幌町に移転する。

1902年明治35年6月和人で最初に小沼常之助が入植。「開拓の碑」現存。旧活汲小中学校グラウンド国道側・現第二分団消防詰所隣。

この第三自治会地域が津別・美幌の発祥の草分け的存在で、いわば開拓の先進地域であります。

1944年昭和19年4月に活汲部落が分割して第三活汲部落の誕生。

1998年平成10年3月に新第三自治会館落成祝賀会・記念誌発行。

2020年コロナ禍騒動が始まりました。

2024年令和6年度は80周年になります。

先輩達が築き上げて来たこの地域を発展させるにはまず過去から学び、現在を見据え、そして未来と向かって行かなければなりません。

2024年明け始めた1月1日の能登半島地震など日本にも各地で災害が起きます。地球の温暖化・環境変化で災害が想定外ではなく日常的に起きうる状況に成って来ました。

人間は一人では生きていけないのです。群れをなし拠るべき所がないとだめなのです。ですから私達はこの地域・故郷を大事にしなければなりませんと思います。



令和6年3月2日社日祭